

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 2 月 10 日作成)

委員会名	温度荷重小委員会	主 査 名：中島秀雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：石山祐二
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>日射や室内温度と言った多くの温度条件(温度荷重)による建物の構造体の変形、応力を把握し、適切な設計の対応を可能とするための指針を示すことが小委員会としての活動目的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「建築物荷重指針」(2004 年版) の出版と講習会の対応 ・実測データの収集、整理、実用的な解析方法、設計クライテリアを作成し、「温度荷重設計ガイド資料」としてまとめる。 	
委員構成 (委員名(所属))	林幸雄(鹿島)、持田悟(竹中)、石川孝重(日本女子大)、永田明寛(都立大)、久木章江(文化女子大)、長瀬悟(日建)、中島秀雄(清水)、丹羽博則(大林)、岩本清孝(竹中)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	90000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	前半は荷重指針改訂及び講習会に向けた調整を行った。 後半は荷重指針を受けてより実用的なマニュアルづくりを目指し、躯体温度の簡易算定法算定に向けて取り組んだ。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 荷重指針の改訂。講習会における発表の実施。 ISO テクニカルレポートを基にした躯体温度簡易算定法作成に取り組み、大まかな枠組みと屋根スラブ、壁など厚さが一樣な場合の躯体温度算定ツールを作成した。 また、活動を温度条件、躯体温度算定、FEM 解析、文献調査、設計例作成に分類し、それぞれ担当を決めて作業を開始した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) マニュアルづくりの初年度としての目的は達成した。
その他評価すべき事項	